

第20回
日本乳癌学会九州地方会
教育セミナー

治療編

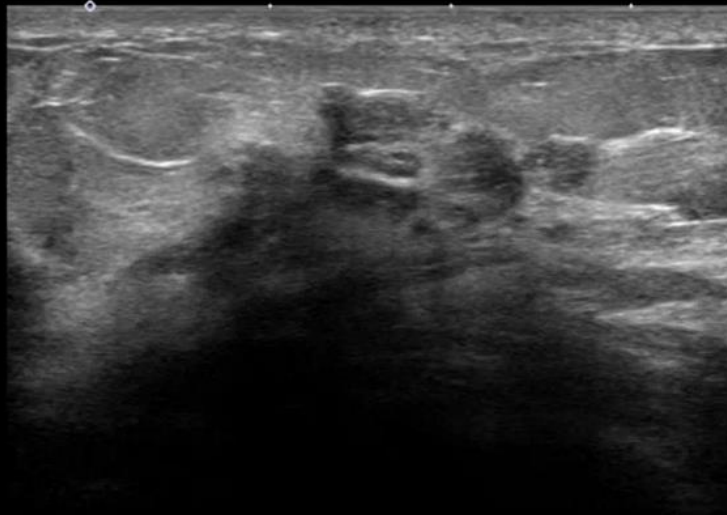
テーマ

腋窩・領域リンパ節のマネージメント

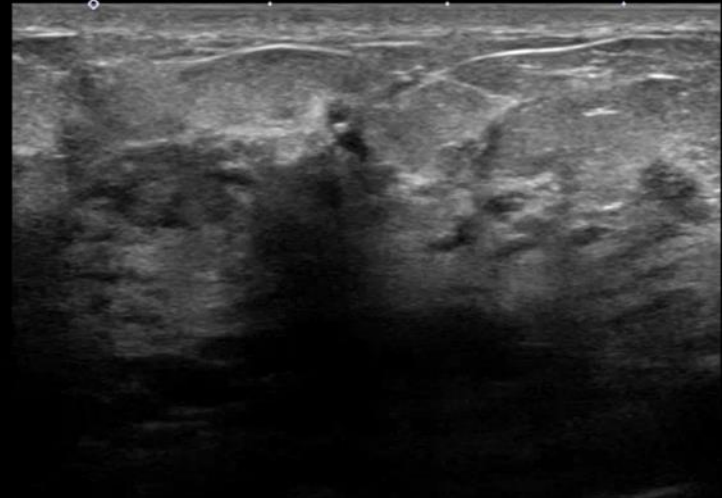
症例①

- 40歳 閉経前女性
- 既往歴：なし、家族歴：乳癌・卵巣癌その他なし
- 職業：ピアノ教師
- 家族背景：夫、2歳と5歳の子供
- 乳がん検診で要精査となり受診。

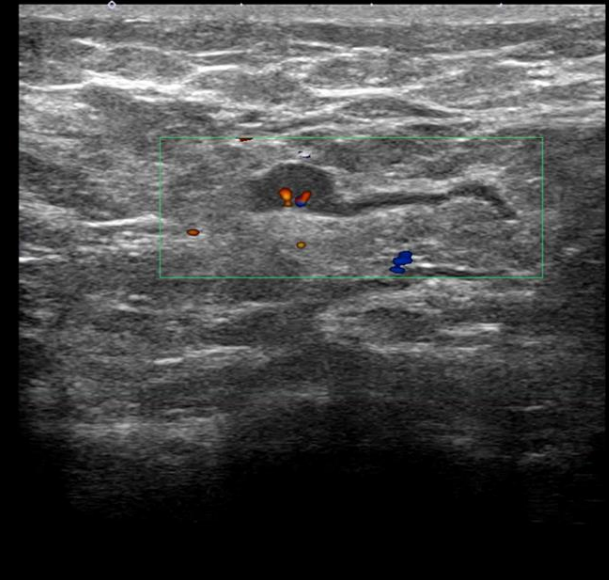
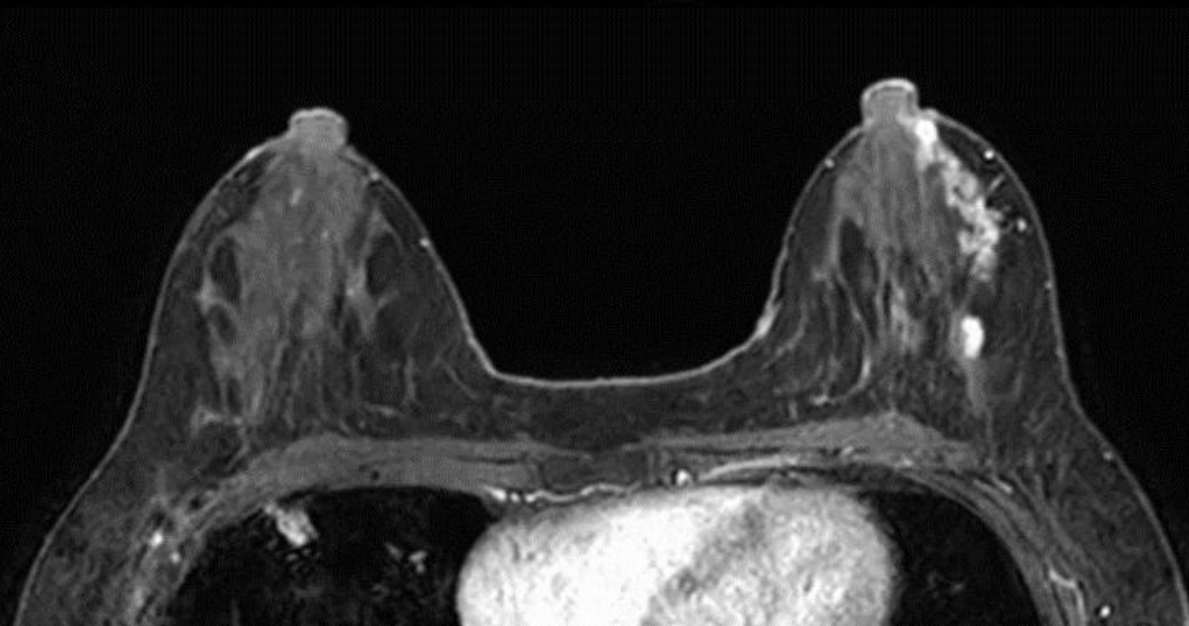
症例①



T
MI (0.7)
i24LX8
d20
34 fps
G:83
DR:70
A:3
P:2



Precision+ A Pure+
T
MI (0.7)
i24LX8
d20
34 fps
G:83
DR:70
A:3
P:2



T
MI (1.3)
i18LX5
d18
10 fps
G:80
DR:60
5.6 cm/s
CF:6
CG:40
F:4

症例①

- 病理診断：超音波ガイド下マンモトーム生検
IDC 組織学的Gradel
ER98% (J-Score 3b/Allred score TS8=PS5+IS3)
PR10% (J-Score 3a/Allred score TS6=PS3+IS3)
HER2(1+) Ki67 5%
- 腋窩リンパ節細胞診：正常もしくはは良性
- cT1-2N0M0 StageI~IIA
- MRI結果より乳房温存困難であり全切除術を勧めた
- 推奨される標準的な薬物療法を受けるともりである
- BRCA遺伝学的検査 病的バリエーションなし

症例①

術式は乳房全切除術＋センチネルリンパ節生検を予定。
事前に患者と相談が必要なことは？

質問 1：SNマクロ転移陽性の場合、腋窩に対する治療法は？

(術中迅速診断を行うという前提で)

質問 2：質問 1 の腋窩への治療法を選択する際のポイントは？

質問 3：もし一次再建を希望した場合の腋窩に対する治療法は？

(術中迅速診断でSNマクロ転移陽性が判明した場合)

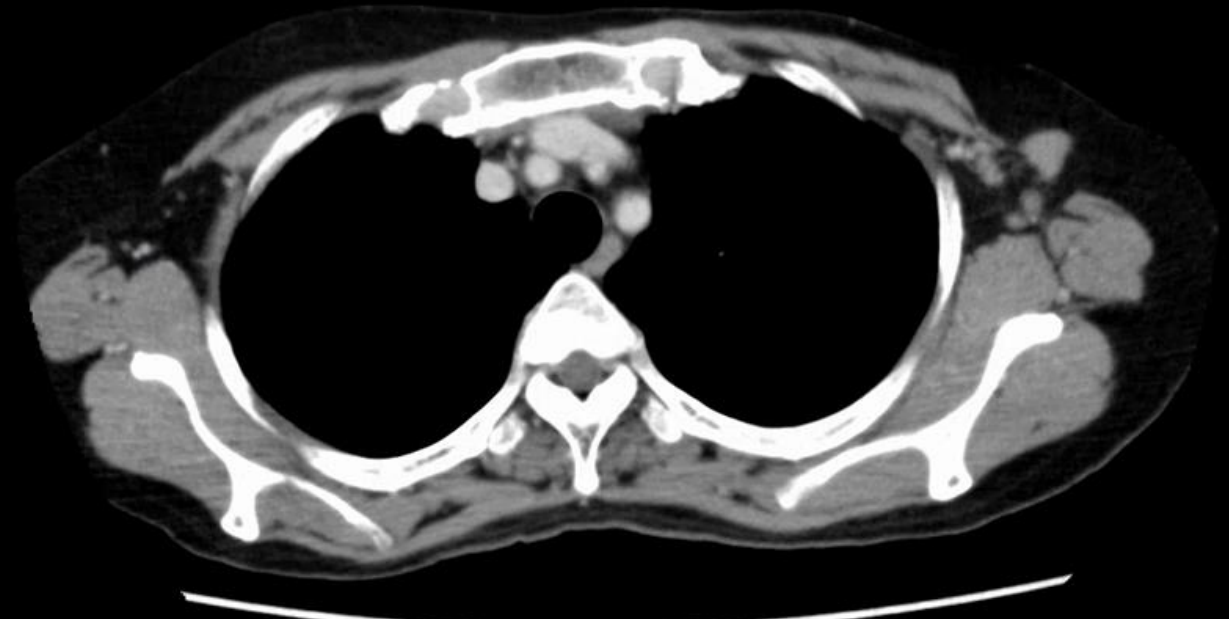
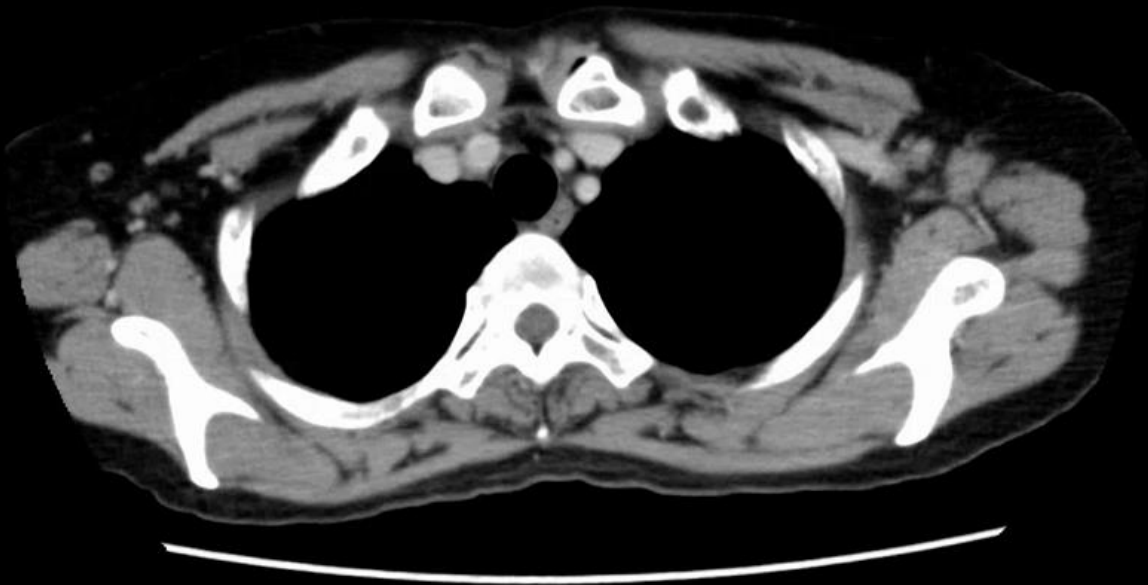
症例②

- 53歳 閉経後女性
- 併存疾患：卵巣腫瘍（婦人科フォロー中）、家族歴：乳癌・卵巣癌その他なし
- 職業：医療従事者（ケアワーカー）
- 家族背景：夫とは離別、22歳、24歳、29歳の子供（全員別居）
- 42歳時、左乳癌に対し、左乳房全切除術＋センチネルリンパ節生検施行（pT2N0M0）Adjuvantは希望せず、定期フォローは終了。
- 51歳時より右卵巣腫瘍を婦人科でフォローされており、CT検査で左腋窩リンパ節腫大を指摘された。その他、明らかな臓器転移の指摘なし。

症例②

腋窩リンパ節に対し針生検を施行した結果

- 乳癌腋窩リンパ節転移 組織学的Gradell
- ER98% (J-Score 3b/Allred score TS8=PS5+IS3)
- PR80% (J-Score 3b/Allred score TS8=PS5+IS3)
- HER2(1+) Ki67 10-15%



症例②

質問：治療方針は？